

事業番号

2023 - 官房 - 22 - 0015

令和5年度行政事業レビューシート				(内閣官房)								
事業名	地方創生国際交流促進事業			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者					
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	担当課室	デジタル田園都市国家構想実現会議事務局		参事官 川越 久史					
会計区分	一般会計											
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等								
政策				主要経費	その他の事項経費							
施策												
政策体系・評価書URL												
事業の目的(5行程度以内)	人口減少、少子高齢化、首都圏への過度な一極集中等、我が国と共通した課題を有する諸外国の関係者と地方創生に係る各種政策及び取り組みの実施状況並びに関連情報等について共有し、交流することを通じて、地方創生施策の充実・強化を図る。											
現状・課題(5行程度以内)	当初予定していた交流事業が新型コロナウイルス感染等の事情により延期されたため、事業そのものを当分の間は休止することとなった。											
事業概要(5行程度以内)	令和4年度は、延期された韓国との定例会議を日本において実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症等の事情により中止となった。なお定例会議には日韓両国の政務及び政策担当者が出席し、地方創生に係る政策の実施状況や成功事例等について情報・意見交換を行うとともに、地方創生の特徴的な事例について現地視察を行う予定であったが、今般の新型コロナウイルス感染症等の事情により交流が非常に難しい状況であることを鑑み、当分の間は休止することとなった。											
事業概要URL												
実施方法	その他											
補助率等												
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	10	令和3年度	7	令和4年度	4	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		補正予算(B)	令和2年度	-	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		前年度から繰越し(C)	令和2年度	-	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		翌年度へ繰越し(D)	令和2年度	-	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		予備費等(E)	令和2年度	-	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	令和2年度	10	令和3年度	7	令和4年度	4	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		執行額(G)	令和2年度	0	令和3年度	0	令和4年度	0	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		執行率(%) =(G)/(F)	令和2年度	0%	令和3年度	0%	令和4年度	0%	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	令和2年度	0%	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)							
(項)			今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により交流が非常に難しい状況であることを鑑み、当分の間は休止する。そのため令和5年度予算措置されていない。									
(目)												
計(A)			-	-								

活動内容① (アクティビティ)		会議やセミナーなどによる政策担当者間の交流を通じて、諸外国の地方創生に係る各種政策や取り組みに対する知見を高め、我が国の地方創生に活かす。									
↓											
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		地方創生に係る各種政策や取り組み、 関連情報を諸外国関係者と共有する	地方創生に関する国際交流 事業の実施回数	活動実績	回	0	0	0	0	0	
				当初見込み	回	1	1	1	-	-	
↓											
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		人口減少、少子高齢化、首都圏への過度な一極集中等、共通した課題を有する諸外国の関係者と情報・意見交換を行うことにより、その成果を我が国の地方創生 施策の企画立案にフィードバックする。									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		地方創生に関する国際交流の場を設置し、 成果を得る。		成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業は休止したため、成果は特にない。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		外国の政策担当者が行われる意見交換や情報共有による成果を、定量的な目標として示すことができない。									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		外国の政策担当者が行われる意見交換や情報共有による成果を、我が国の地方創生施策の企画立案にフィードバックすることを目的とした事業であるため、複層的なアウトカム設定にはなじまない。									
		アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等	名称										
	URL										
	該当箇所										
事業所管部局による点検・改善											
点検結果	令和4年度においては、新型コロナウイルス等の事情につき交流事業が延期されたため、 事業中止とせざるを得なかった。						目標年度における効果測定に関する評価(令和5年度実施)				
							同左				
改善の 方向性	本事業は当分の間は休止することとなった。										

外部有識者の所見	
事業が休止では目標の設定のしようがないが(レビューの意味も不明)、再開するのか(再開の条件、オンラインなどの再開の方法)あるいはこのままやめるか方向性を検討すべき。	
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	
終了予定	事業所管部局による点検結果のとおり、予定どおりに終了すべきと史料する。今後、当該事業を再開しようとする際には、当面の実施可能性を念入りに検証した上で、予算要求等のアクションに移行すること。
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
予定通り終了	再開の目途が現時点で立っていないことから、終了する。
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ
	上記への対応状況
	その他の指摘事項
	上記への対応状況
備考	
-	
関連する過去のレビューシートの事業番号	
平成23年度	
平成24年度	
平成25年度	
平成26年度	
平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
令和元年度	内閣官房 - 新31 - 0002
令和2年度	内閣官房 0016
令和3年度	2021 官房 20 0036
令和4年度	2022 官房 21 0009

実績なし

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)